

社会資本総合整備計画

東京電力総合グラウンド跡地周辺整備計画

平成24年2月

東京都 杉並区

【杉並区】社会資本総合整備計画（市街地整備）

計画の名称	東京電力総合グランド跡地周辺整備		
計画の期間	平成24年度 ～ 平成28年度（5年間）	交付対象	杉並区
計画の目標			

杉並区の一人当たり公園面積は23区の中でも低い水準にあり、都市計画公園の供用率も50%を下回っている。「杉並区都市計画マスタープラン」（平成14年6月改定）においては、公園緑地の不足している地域を中心に整備を進めるとともに、地域のみどりやオープンスペースの核となる規模の大きな公園も可能な限り整備していくとし、本計画地周辺を防災拠点となる、みどりの核づくりを進めるべき地域と位置づけている。また、「杉並区みどりの基本計画」（平成22年5月改定）においても川沿いのみどりを結ぶ、みどりのベルトとして整備していくエリアに位置付けている。

一方、本計画の中核を占める東京電力総合グランドはみどり豊かな住環境と防災上の観点から、極めて公益性の高い不可欠な空間である。また、当該地のある方南・和泉地域は、区内7地域で唯一地域公園（杉並区みどりの基本計画上の分類で1～10ha）の無い地域であるため、公園計画上也必要性が高い。

こうしたことから、区内に残された貴重なオープンスペースである東京電力総合グランドを取得、公園として再整備するとともに、周辺の取得可能な土地や既設都市公園等も合わせて一体的に整備することにより「みどりの都市杉並」の実現をめざす。

計画の成果目標（定量的指標）	1) 区内の都市計画公園の供用率をH24年度当初予想49%から52%に向上する 2) 区民一人当たり公園面積をH24年度当初予想1.99㎡から2.08㎡に増加する		
----------------	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)	
1) 都市計画公園の供用	供用率 (%) = 供用都市計画公園面積 (ha) / 計画決定面積 (ha)	49%	49%	52%
2) 区民一人当たり公園面積	一人当たり面積 (㎡) = 公園面積 (㎡) / 人口 (人)	1.99㎡	1.99㎡	2.08㎡

全体事業費	合計 (A+B+C)	6,815 百万円	A	6,774 百万円	B	0 百万円	C	41 百万円	効果促進事業費の割合 (A (提案分) + C) / (A+B+C)	0.6%
-------	---------------	-----------	---	-----------	---	-------	---	--------	---------------------------------------	------

交付対象事業

A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
1-A-1	公園	一般	杉並区	直接	杉並区	都市公園事業（下高井戸公園）	当該都市計画公園整備：新規取得用地4.4haと区有地0.4ha(公園・水路等)を活用し、運動施設のある地区公園として施設整備4.8ha	杉並区						6,774	
合計												6,774			

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
														0	
合計												0			

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
1-C-1	施設整備	一般	杉並区	直接	杉並区	周辺環境整備事業	当該都市計画公園周辺環境の再整備等	杉並区						41	
合計												41			

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
1-C-1	隣接する神田川の管理用通路・水路・既設の公園との接続部を再整備し一体的な空間を創出することで基幹事業の効果が高まる。											

